



留萌市議会だより

留萌市議会

検索



※左記のQRコードからも留萌市議会のホームページにアクセスできます。

第150号 議会です こんにちは

主な内容

P10・公共施設整備調査研究会

P11・市民と議会の意見交換会

P12・各常任委員会からの報告

P13・令和4年度決算審査特別委員会

P14～P16・第3回定例会一般質問

P17・こんなことが決まりました

・組合議会からの報告

・議会の動向……………ほか

モンベルアウトドアヴィレッジ るもい構想

集中的に調査研究〈中間報告まとめる〉

令和5年6月から動き出した「留萌市議会公共施設整備調査研究会」は、これまでに5回の会議を開催。特に7月開催の「市民と議会の意見交換会」での意見などを踏まえ「モンベルアウトドアヴィレッジるもい構想」について集中的に協議、市民が心配する財源や効果、更に芝生に対する市の考え方を確認し、現段階で可能な調査研究のめどがついたため、調査研究内容について中間報告し、議員間の情報共有を図りました。

研究会は、モンベル、小麦集出荷施設、社会教育施設、市庁舎など公共施設整備についての調査研究を目的とし、差し迫り市民と議会の意見交換会で出された「モンベル」に関する意見を整理しました。

- ①現時点の計画（構想）について
- ②モンベルとの協議についての進捗状況
- ③事業実施における条件整備のための他団体との調整等の進捗状況
- ④第2期工事の考え方やスケジュール
- ⑤モンベルショップの規模・内容
- ⑥地域への波及効果



小野座長を中心として調査研究する会議

について執行部に質問し確認しました。

なお、モンベルの「ショップ、拠点施設」に関して、基本計画の委託業務が完了した後、より具体的な立地場所や財政規模などについて再調査し、改めて情報共有を図ります。

市民と議会の意見交換会を開催しました

テーマ 道の駅もい・旧留萌駅周辺とまちづくり

意見交換会には23人の市民のみなさんに参加していただき、さまざまなご意見をいただくことができました。

ご協力たいへんありがとうございました。



令和5年7月24日
留萌市中央公民館講堂にて

休憩所がない。飲食する場所を施設の中（2階など）へ移動しては。ロケーションをもっと活用したら良いのでは。

「ちゃいるも」ができて人の流れも良くなり、観光客も増え、他の道の駅に比べると賑わっている。

サービスとして「いらっしゃいませ、ありがとうございました」のおもてなしムードが薄れている。

子どもたちが将来市政の担い手になる時、このまちに残りたいと思える魅力やビジョンが必要。



道の駅



芝生やドッグラン、パークゴルフ場があるが、新たに開発するにしてもきちんと広聴活動を行って進めるべき。

市民が行きたくなるようなワクワク感がほしい。定期的なイベント開催など。

小さい子が遊べる公園がなく遊具を設置して欲しい。

新鮮な魚介類や農産物の直売など、留萌の名産の販売で集客率を上げてほしい。

皆さまからいただいたご意見の一部をご紹介します

比較的賛成の立場だが、モンベルショップの製品を体験できる施設や冬季のビジョン等に課題があると感じる。

やったことのないものに挑戦してもいいのでは。まちの風潮を変えないといいものは育たない。

モンベルショップでしか買えないものを地方で買い物をするところがあるので、留萌市にショップがあると大変嬉しい。

将来を見据えた施設とを感じるが、大きな芝生ゾーンにコテージは勿体無い。サッカーの大きな試合の誘致が可能では。



モンベルアウトドア ヴィレッジ構想

収益の増加がみられない場合や赤字となった時に、簡単に撤退すると考えるのが普通。十分に精査して欲しい。

集客や雇用のメリットについて、もっと開示すべき。きちんとした根拠を示す必要がある。

副港にカヤック体験が考えられているが、水が綺麗ではない。健康面で心配はないのか。

モンベルという一流ブランドが留萌に魅力を感じ、出店意欲があるということは心強い。

小ホール、市役所の一部を併設した様々な機能を持ち、セレモニーホールや結婚式にも使える大きな施設に。

新交流複合施設



異世代交流、デイサービスと保育園があるような、色々な世代が交流できる市民が集う施設にしてほしい。

障がい者や高齢者も使い易い施設に。道の駅と連携して、市民が使える複合施設に設計、市民目線の建物に。

緊急時避難施設になることや、公共施設だけでなく、民間団体の施設や店舗も入れるようにしてはどうか。

歴史館のような地域の歴史を伝える場所、観光客に留萌をPRする施設も必要。

令和5年度「市民と議会の意見交換会」結果報告書は留萌市議会のホームページからみることができます。

第1
常任委員会
の報告

留萌市ゼロカーボンシティ宣言！ 幌糠コミセン機能移管検討開始へ

◎委員長 戸水美保子 ・村上 雅彦 ・小野 敏雄 ・野崎 良夫
○副委員長 宇川 達朗 ・鈴木 亜湖 ・村山ゆかり

総務部より、令和4年度決算については全ての会計において黒字決算であると報告を受け、令和5年度補正予算について確認。産業分類別個人所得の推移について説明を受けた。

地域振興部よりモンベルアウトドアヴィレッジるもい構想において、資材費高騰などの影響で、構想の理念は変えずにアウトドア・アクティビティ拠点施設の整備を優先し、令和8年度の開業を目指すと報告を受けた。令和5年度まちづくり懇談会の開催結果、留萌市幌糠コミュニティセンターの



▲機能移管を協議している幌糠コミュニティセンター

老朽化に伴い旧留萌市立幌糠中学校（現留萌市幌糠農業・農村支援センター）内へ施設機能を移管・集約する説明を受けた。

都市環境部より地球温暖化の影響による集中豪雨などの異常気象が世界各地で多発し、温暖化対策の必要性が国際的に共有され、国は2020年10月に「2050年までに脱炭素社会の実現を目指す」ことを宣言した。北海道においても2021年3月に「ゼロカーボン北海道」の実現を目指すことが表明され、留萌市においても温暖化対策の取組が必要と考え、留萌市ゼロカーボンシティ宣言について行政報告する説明を受けた。議員からは具体的な取組について明記すべきだと意見が出た。

新型コロナワクチン秋接種 いじめに関する調査結果報告

第2
常任委員会
の報告

◎委員長 米倉 靖夫 ・川村 忠司 ・横田 美樹 ・村上 均
○副委員長 田村 裕樹 ・燕 昌克 ・小沼 清美

市民健康部、教育委員会、留萌市立病院の所管事務調査を行う。

市民健康部からは、本年9月末日で任期満了となる人権擁護委員の後任候補者を法務大臣へ推薦するために議会の意見を求めること、また、令和5年度の各補正予算についての説明を受けた。さらに、新型コロナウイルスワクチンの秋接種についての情報提供を受けた。接種期間は令和5年9月20日～令和6年3月30日まで（個別接種のみ）で、予約方法はコールセンター（12月まで）及びインターネットでの申込。初回接種を終了した5歳以上の全ての方が対象で、接種費用は無料であることを確認した。

教育委員会より、令和4年度小・中学校におけ

る「いじめ・不登校」状況に関する調査結果では、いじめの認知件数は小・中学校合わせて185件で、その内容把握や対応状況についての報告と、同じく不登校児童数や不登校となった要因、対象生徒への指導状況についての報告を受けた。

留萌市立病院からは、令和4年度の会計決算で、患者数の減少とともに医業収益が落ちたものの、空床補償により約1億6千万円の当期純利益を生み、3期連続の黒字決算となった報告を受けた。



▲留萌市立病院

令和4年度決算審査特別委員会からの報告 (一部抜粋)

9月13日決算審査特別委員会を開きました。

【総務費】

Q マイナンバーカード普及率とカード発行にトラブルはなかったか。

A 市全体普及率は令和4年度末で76.8%、令和4年度においてトラブルは無い。



▲マイナンバーカードのサポート

Q 職員のストレスチェックについて、ハイリスク者の有無は。

A 43名、13%が高ストレスと認定された。

Q 防災備蓄について、女性目線での対応はできているか。

A 備蓄品としては、生理用品や紙おむつの準備はある。

Q 第10留萌川橋梁利活用調査の結果は。

A 人道橋として使用するための工事費に約2億5千万円かかる。橋梁の点検結果、健全度判定は4段階中一番低い結果となった。

【民生費】

Q 緊急通報システムの対象が79世帯、利用回数は。

A 令和4年度は、安否確認も含め、681件あった。

Q 小規模保育「すまい留」の待機児童は何人か。

A 令和4年度は、待機児童は出していない。

Q 市内幼稚園の一時預かり事業が予算より増えている要因は。

A かもめ幼稚園、聖園幼稚園ともに令和3年度よりも保護者の就労が増えたため。

【衛生費】

Q 市営墓地全体と合同墓の利用状況、課題と対策は。

A 1,934区画に対し1,800区画が利用されている。合同墓は31件の申請があり、納骨数81体。墓終いなどで市営墓地に空白地帯が増えており、新たに貸し付ける際には、利便性の良い、高齢者の行きやすい場所に集約したい。



▲申請が増えている合同墓

Q 子宮頸がんワクチンの接種者が少ないが、啓蒙の必要性は。

A 中学校1年生から高校1年生までの女子243人が対象。確実に90%以上の効果があるワクチン。対象者全員が接種していただけるようにしたい。

【農林水産業費】

Q 新規漁業者支援事業の実績は。

A 令和4年の新規漁業者1名。すでに組合員になっている4名に経営自立安定支援を最長5年間、年間上限150万円の支援。すべて留萌市民からの着業。

【商工費】

Q モンベルアウトドア観光・プロモーション事業の消耗品費の内容は。

A モンベルアウトドアヴィレッジるもい構想の実現に向け、機運醸成のための政策のPRツールとしてプロモーションウエアを購入し、市職員に貸与。

Q JALとの連携によるふるさと納税等推進事業の成果は。

A JALのポータルサイトを富裕層

向けのチャンネルとして活用し、約1千万円の寄附につながっている。

Q 商店街振興組合連合会振興対策事業の成果は。

A 大売り出しや商店街の魅力を伝えるためのフラワーロードなど、市民に愛される商店街づくりが取り組まれた。

Q 道の駅新商品開発業務委託料の100万円の内容は。

A 道の駅の認知度向上に向けた取組として、道の駅で販売する新商品を開発するために、留萌観光協会とカフェを運営している事業者へ新商品の開発を委託。

【土木費】

Q 除雪業者の組合法人化に向けた共同企業体による応援体制は。

A 路線バスを止めないことを軸に業界も取り組んだ。積雪量も少なかったこともあり、円滑な除排雪につながった。

【教育費】

Q 河合塾との連携による学習意欲向上支援事業の教職員、生徒の評価は。

A AI型学習支援ツールの活用により教職員の負担が軽減、生徒もパソコンを使用したドリルは使い勝手が良いと評価。



▲パソコンを使った授業風景

Q 潮静小学校の空調設備の効果は。

A 普通学級などにエアコン7台を設置した。猛暑による繰り上げの下校を避けることができた。

令和5年 第3回定例会 一般質問と答弁

①



むらかみ ひとし
村上 均
〔留萌公明党〕

質問 温暖化対策について

学校における熱中症対策では、学校の温度を適切な水準に維持することが重要。そこで市内の学校施設における、小中学校の空調設備の設置状況及び今後全市的に取り組まれる計画があるのか伺う。

〔答弁〕 3校に部分的に設置している。市内小中学校への空調設備の設置については設置自体にも費用がかかることや、設置後においても耐用年数ごとの更新や、使用に伴う電気料金など多額の負担がそれぞれ生じてくる。常設の空調設備の設置ということだけでなく、スポットクーラー



▲空調設備が整備されている教室

などの簡易的な冷房設備の設置についても、比較検討する必要があると考えており、更には夏休み期間の変更、延長など、夏休みのあり方というものについても、今後は検討していく必要があると考えている。

質問 空き家対策について

「空家等対策特別措置法」に基づき、市民の安心・安全の確保と生活環境の保全を確保するため「留萌市空家等対策計画」を作成している。そこで、市が把握する空き家の中で、危険と思われる空き家の状態について、更に特定空き家の指定に向けた任意協議会の設置状況について伺う。

〔答弁〕 令和5年3月末時点で284戸把握しており、そのうち14戸を所管として危険な空き家と判断している。危険な空き家の明確な定義がないので、判断基準としてはこれまでに建材が飛散して危ないなどの理由で複数回通報を受け、現地確認により通報通りの状態であることを確認できた空き家を、現状では危険な空き家としている。協議会設置の人選等も含めた状況については法律等も関わりますので、弁護士・開発建設部等の関係者に御協力して戴ければと考えている。年度内に仮称「空き家等適正管理に関する条例」を制定したいと考えている。



こぬま きよみ
小沼 清美
〔無会派〕

質問 市民のための公共施設について

公共施設については、市庁舎、文化センターなど市民のための公共施設として、優先して行わなければならない事業がある。アウトドア拠点施設として、モンベルの商品を販売、展示するための店が大きな面積を占める建物を、公共施設として建設することは問題がある。巨額事業が頓挫すれば最終的な市民の負担になってしまう可能性がある。市長の見解を伺う。

学校給食センターを売却し、その中で給食を含むさまざまな配食事業が行われても、学校給食は採算がとれないのでやめるということにならないか。また、民間業者で行うというこのリスクが、最近報道された給食調理会社の破綻からもみえてきている。子どもたちの教育に関わる極めて公共的な施設を市が維持していく、減っていく子どもの数に見合った施設の建て替えをしていくなど、いろいろな方策を考えて行くべきと考えるが、教育長の見解を伺う。
〔答弁〕 新たな雇用と新たな観光需要による起業や、民間投資の進出交流人口をはじめとした関係人口の増加

を図り市内での大きな消費効果、経済効果をめざしたい。

給食センターの売却については、民間業者が全く撤退しないという可能性がゼロというふうには考えていない。事業撤退の意志を示した時には、契約の際に建物、土地、調理機器を市に譲渡するという条項を盛り込んで、次の事業者を選定するまでは直営での運営も考えている。民間売却後も運営などをチェックする機能を持った協議会を設置したい。

給食センターは施設の老朽化、調理員不足など多くの課題を抱えている。民間業者による施設の有効利用が可能になり、新たな子育て支援事業にも期待がもてると考えている。子どもたちにとって最善の選択であると判断している。



▲公設で建設予定とされるアクティビティ拠点施設 (写真はモンベル南富良野店)

令和5年第3回定例会 一般質問と答弁

②



たむら 田村 裕樹
〔萌芽クラブ〕

質問 教育・子育て環境の充実

特に、今夏の猛暑を受け、児童生徒が安全で安心な学校生活を送ることができるとともに、教育環境の充実・確保に向けて必要な施策について聞きたい。

また、ひとり親・共働き家庭にとつて、長期休暇中でも子どもへの支援を行う留守家庭事業の運営・役割は、昨今の社会情勢を見てもますます重要だと考えるが、利用者からの声や現状と課題について聞きたい。



▲受入定員を超える児童センター

答弁 8月下旬に熱中症警戒アラートが発令され、留萌市でも記録的な暑さが続いたことを受け、児童生徒の熱中症防止、安心・安全な学校生活を送るための環境整備として、小

中学校において空調設備等の設置について検討が必要である。

留守家庭児童会の受け入れ定員を超える施設については、職員の確保が大きな課題ではあるが、職員の配置を工夫するなど柔軟に対応し、保護者の希望に添える事業とするために現場と協議を重ね対応していきたい。

質問 人口減少対策について

自然減・社会減ともに急速に進む人口減少対策として、平成22年度から地域おこし協力隊制度を活用しているが、任期終了後の定住率などその制度の現状と課題について聞きたい。また、生産年齢人口の増加を見据えた移住・定住政策の新たな取組や支援の拡大を行う考えがあるか聞きたい。

答弁 これまで18名の隊員を採用し、現在7名が定住している。課題として、移住者が定着するために地域でのサポート体制や専門的にワンストップでの相談体制の構築や「るもいらいふ」など「まち」を紹介する効果的な情報発信方法についてはまだまだ工夫・研究が必要である。新たな取組として、令和6年度の留萌市職員採用において、留萌市とつながりのある方を対象とした新たな採用を予定、また対象者の要件設定を新たに「移住支援金」の拡充の他、受入環境の整備も図る。



すずた 鈴田 亜湖
〔萌芽クラブ〕

質問 地元企業支援施策について

地元企業の多くが労働力不足を課題として挙げている中、求人募集をしても人が集まらない人手不足の状況から、労働力の確保は深刻な問題となっている。地元の若者が生き生きと働く事ができる環境づくりについて、現在の取組状況をお聞きしたい。持続可能なまちづくりを実現するためには市民や企業、行政が労働力確保に向けた目標を共有して取り組むことが重要と考えるが、市長の考えをお聞きしたい。

答弁 各産業分野で働き手不足が深刻な状態にある中、特に製造業、建設業、介護職の分野で人材が不足している。そこで技能実習生などの外国人材の確保と受入体制の整備が必要であり、事業者のみならず地域が一体となって状態に応じた支援体制が必要と考える。国の支援制度なども活用しながら、採用手法や日本語教室の講習等を開催することが必要と考えるが、意見をお聞きしたい。

の環境づくりに繋げていく。

市民や企業、行政が労働力確保に向けた目標を共有する事でそれぞれの役割が明確となり、関係者の主体的な取組につながるものと考えている。経済振興会議において調査審議をしていただくよう働きかける。

市の役割は、外国人が地域住民として安心して暮らしていける生活・労働環境の整備を関係機関と連携して進めることを考えている。北海道や留萌商工会議所などの取組について、市のホームページなどを活用しながら周知に努めるとともに、商工会議所やパワスポ留萌など、関係機関とも相談しながら地元企業の外国人材の確保に対する機運醸成を図るための環境づくりに努めていく。



▲留萌市内で働く特定技能実習生の仕事風景(製造業)

令和5年 第3回定例会 一般質問と答弁

③



うかわ たつろう
宇川 達朗
〔萌政会〕

質問 留萌の医療・介護について
今後の留萌市立病院において、特に経営力強化、機能強化をはかる上で、何か具体的な考えがあるのか、お聞きしたい。

答弁 市立病院は、留萌医療圏において、役割や機能の維持、働き方改革への対応、新興感染症への対応など国の公立病院経営強化ガイドラインに基づいた取り組みには医師や看護師をはじめとする医療スタッフの確保が重要であり、最重点課題として取り組まなければならないと考えている。経営面、診療面では新型コロナウイルス感染症によって専門病床の確保や臨時外来、院内感染対策など大きな変化があった中で平時に戻しつつも落ち込んだ患者数や収益の回復に取り組みむとともに、機能強化、経営強化を図っていくかなければならない。このようなかで脳神経外科において医師の派遣をいただいている旭川赤十字病院のご協力により9月からは慢性硬膜下血腫、ドレナージ手術を行えるようになり、病院機能の強化と収益増加が期待されている。将来的には旭川赤十字病院からの応援体制の拡充とともに、脳神経外科手術の再開

を計画に盛り込み、実現に向けて努力したいと考えている。



▲脳外科ドレナージ手術再開の留萌市立病院

質問 市内公共事業の実現に向けて8月25日のキャンプ場等を含む2期工事の事実上の白紙という新聞報道に関して、市長より経緯についてお聞きしたい。

答弁 資材高騰に想定外の状況であり、そのことで私も大阪に向向き、モンベルの辰野会長とお話をし、辰野会長自身も重く受け止めており、柔軟な形で今後の計画を考えていきたい。拠点施設を優先し、更なるモンベルアウトドアヴィレッジ構想のキャンプ施設等は状況を見ながら考えていきたい。国の資材高騰に関するの補正の状況も見極めなくてはならない。資材高騰問題は大きな局面を迎えていると感じている。



とみずみ ほこ
戸水美保子
〔留萌公明党〕

質問 学校給食について

学校給食センターの課題として、働き手が不足していることが挙げられているが、市は解決のために、どのように取り組んできたのかお聞きしたい。求人にあたって時給のアップなど待遇の改善は有効だと考えられるが、検討してはどうか。

また、働き手の不足の理由として、通年で働けないことが挙げられているが、解決策として夏・冬休みに留守家庭児童会に給食を提供することで、雇用の改善を図ることを検討できないのかお聞きしたい。

今年6月に、こども家庭庁から、長期休業中に児童センターの留守家庭児童会への給食提供を検討するように通達が出ていることから、留萌市においても検討し、雇用環境の改善を図ってはどうか。

答弁 様々な媒体を活用し、求人募集や給食調理員の報酬単価の引き上げを行っているが、現時点においても欠員状態の解決に至っていない。学校給食センターから長期休業中に、留守家庭児童会へ昼食を提供するには、栄養教諭の業務負担や保護者・市の負担額の設定、料金の徴収

管理、昼食の配送などの課題がある。さらに、学校給食センターの調理設備や調理するスペース、調理機器等の課題があり、留守家庭児童会に昼食を提供して、雇用の改善を図ることについては、現時点において困難なものと考えている。

質問 市内バスの運行改善について
市内近郊線のバス路線が減便となり、通勤や市立病院受診時の利用にあたって不便だという声があるが、市としての改善に向けた方策についてお聞きしたい。

答弁 市としては、住民の需要に応じたバス等の旅客輸送の確保や、利便性の向上に向けて、改善が図られるよう留萌市地域公共交通活性化協議会の意見も伺いながらバス事業者とも十分協議していきたい。



▲留萌市内近郊線の沿岸バス

議会の動向

令和5年6月9日から9月5日
までの議会の動向を報告します

- 5.6.9 令和5年留萌市議会第2 回定例会開会日
- 6.11 留萌駐屯地創立70周年記念行事
- 6.13 全国市議会議長会第231回理事会
- 6.14 全国市議会議長会第99回定期総会
〃 全国市議会議長会各委員会合同会議
- 6.16 第1常任委員会、第2常任委員会、議
会広報広聴常任委員会
- 6.18 第二師団創立73周年及び旭川駐屯
地開設71周年記念行事
- 6.19 一般質問
- 6.20 本会議
- 6.22 公共施設整備調査研究会
- 6.23 第1常任委員会、第2常任委員会
- 6.26 令和5年度留萌地域総合開発期成
会臨時総会及び地元要望
- 6.27 R5.留萌地域総合開発期成会札幌要望
- 6.28 R5.留萌地域総合開発期成会中央要望
- 6.29 R5.留萌地域総合開発期成会中央要望
- 6.30 R5.留萌地域総合開発期成会中央要望
7.5 東海大学海洋調査研修船「望星丸」
留萌港寄港歓迎セレモニー
埼玉県鴻巣市議会かいえんたい行政視察
- 7.6 R5.「空き家・空き地問題に関する特別
委員会」正副委員長会議、第1回委員会
- 7.7 R5.「空き家・空き地問題に関する特
別委員会」現地調査
- 7.10 議会運営委員会、各派代表者会議
海上自衛隊ミサイル艇「わかたか」
入港歓迎式、特別公開
- 7.11 海上自衛隊ミサイル艇「わかたか」歓迎懇親会
- 7.12 海上自衛隊ミサイル艇「わかたか」出港見送り
- 7.13 議会広報広聴常任委員会、東海大学
海洋調査研修船「望星丸」出港見送り
- 7.19 福島県議会企画環境委員会行政視察
- 7.21 第1常任委員会
- 7.23 レンジャー帰還式
- 7.24 第2常任委員会、令和5年度市民と議
会の意見交換会
- 7.28 るもい呑涛まつり式典
- 8.1 公共施設整備調査研究会
- 8.2 留萌市暴力追放運動推進協議会街
頭啓発運動
- 8.9 第23回「ユニオン・福対協」チャリティー
ビアパーティー
- 8.10 全員協議会、各派代表者会議
- 8.17 議会広報広聴常任委員会
- 8.18 各派代表者会議、公共施設整備調査研
究会、令和5年度留萌市平和祈念式典
辰野会長による留萌市議会議員に対
する説明会
- 8.21 第2常任委員会
- 8.22 公共施設整備調査研究会
- 8.23 いなつ久を励ます会
- 8.24 令和5年北海道市長会副市長会議
- 8.25 第1常任委員会
- 8.29 全員協議会
- 8.31 新隊員35km徒步行進訓練の激励
- 9.1 議会運営委員会、各派代表者会議
- 9.2 令和5年度留萌市市民防災訓練視察
- 9.4 浅野貴博と語る9月の集い(令和5年
度道政報告会)
- 9.5 令和5年留萌市議会第3回定例会開会日

こんなことが決まりました

令和5年 第3回定例会 9月5日～14日

令和5年 第3回定例会

諮問	・人権擁護委員の推薦について ほか1件…適任
認定	・令和4年度留萌市各会計歳入歳出決算の認定について ・令和4年度留萌市水道事業会計決算の認定について ・令和4年度留萌市病院事業会計決算の認定について …認定
報告	・令和4年度留萌市の健全化判断基準比率の報告について ・専決処分の報告について（令和5年度留萌市一般会計補 正予算（第6号）について） ほか3件…了
議案	・令和5年度留萌市一般会計補正予算（第7号） ・令和5年度留萌市国民健康保険事業特別会計補正予算(第2号) ・令和5年度留萌市介護保険事業特別会計補正予算（第1号） ・令和5年度留萌市下水道事業特別会計補正予算（第1号） ・子ども家庭庁設置法の施行に伴う関係法律の整備に關する 法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例の制定 について ほか3件…原案可決 ・留萌市公平委員会委員の選任について …同意
意見書案	・ゼロカーボン北海道の実現に資する森林・林業・木材産 業施策の充実・強化を求める意見書 ・国土強靱化に資する社会資本整備等に関する意見書 ほか3件…原案可決

組合議会からの報告

留萌南部衛生組合議会

令和4年度決算を認定

留萌南部衛生組合議会第2回

定例会が、8月31日午後1時半から市議会議場で開催されま
した。令和4年度会計決算について認定し、令和5年度補正予
算、火葬場条例の一部を改正する条例制定について可決し、閉
会しました。火葬場条例の一部改正は、留萌市、小平町の住民
とその他の住民で使用料が異なるため、疑義が生じないよう住
民に関する定義づけを明確にするものです。

編集後記

定例会、市民と議会の意見交換会な
どの活動を通じて、多くの課題を再認
識しました。市民が笑顔で暮らせる留萌を目指し、課題解決に
向けてしっかりと議会活動を行い、広報していきます。議会だ
よりの編集に関わり5か月が経ちました。市民に必要とされる
内容を模索しながら頑張ります。(雅)